

令和8年（2026年）3月9日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌東高等学校長 須藤 克志

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 多様な生徒への適切な指導に向けた校内支援体制の構築、特別支援教育の理解
 (2) 低学年からの進路意識の向上、総合的な探究の時間の充実
 (3) 学校行事の活性化、生徒の自主的な活動の推進
 (4) 基礎学力の定着、ICT等を活用した授業改善

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的内容の学び直しや振り返り等により、自学自習など主体的に学ぶ意欲が向上した。 ・生徒の学ぶ意欲を引き出し、放課後の学習会や補習授業を実施し、生徒が望む学習支援を心がけた。 ・ICTを活用した授業実践が教職員間で広まり授業改善を図ることができた。 	<p>○取組は概ね良好。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に即した、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育の推進をしてほしい。 ・主体的に学ぶ意欲が着実に育っていることがうかがえる。 ・これまでも多様な学力層に対応した学習指導が展開されており、今後もきめ細やかな指導を継続してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別最適・協働的な学び」と「主体的・対話的で深い学び」を一体的に推進。 ・ICTを活用した授業等の実践について、他校との交流を図り、個々の研修を推進。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーショントレーニングの実施。他者を尊重し、挨拶や正しい言葉遣いなどを意識させた指導や声かけが必要。 ・学校行事や外部講師の講演による自己肯定感の向上。取組への関心や言葉の理解をより深め、個々の特性を理解し、対話活動が必要。 ・集会時の指導、定期的な健康相談の実施。未然防止に向けた全体への呼びかけの継続、生徒面談や家庭との連携が必要。 	<p>○取組は概ね良好。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒が通っていることから個々の適性に応じた指導が一層不可欠であるため、より生徒の個性が生かされた学校生活が送れるような取組を期待する。 ・コミュニケーショントレーニングで生徒が成長する姿は保護者への強いアピールになる。また、生徒同士のコミュニケーション促進につながる実践的な取組を期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力の育成や集団生活における自己尊重の意識向上とモラル指導。 ・生徒面談による状況把握と状況に応じて、保護者等、関係機関等と連携。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に外部機関と連携を図り、1年間を通して進路講話や個別相談を実施することで、生徒の進路実現を図った。特に教育局から派遣されるキャリアプランニングスーパーバイザーや札幌新卒応援ハローワーク就職支援ナビゲーターとの連携が、高い就職率に繋がっている。 ・インターンシップ等体験学習の機会の提供と参加の推進を図り、進路意識の向上を目指す。 	<p>○取組は概ね良好。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学当初より、体系的なキャリアガイダンスを行い、長期的展望を元にした進路活動を進めてほしい。 ・自己の特性を把握し、社会で生き抜く力を身につけさせてほしい。 ・三者面談等により情報提供を行うとともに、生徒本人と保護者の両方に寄り添った指導を期待したい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の適性や進路希望に応じて、早期から組織的に情報提供や進路指導に取り組む。 ・様々な課題を抱えている生徒に対する進路指導に関して、関係機関と連携して指導していく。 	
健康安全	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康教室」や「生命の安全教育」等、生命の尊さを基本に据え、健康安全指導の徹底を図る。 ・保健室での健康相談や心と身体のチェックリストを活用し、面談の継続が必要。 ・1日防災学校や交通安全教室、薬物乱用防止教室など指導の充実を図っている。 	<p>○取組は概ね良好。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心に悩みを抱えている生徒が多い中、学校として丁寧に向き合っているサポートしている様子が伺え、今後もサポート体制を継続してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・心と身体のチェックリストや健康面談における生徒の抱える課題把握、対応への推進。 ・SCやPTなどの助言や若者サポートステーション等の専門機関と連携を図り、教育相談体制を充実させていく。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ウェブページに掲載 	